サマーセミナー2018 アピール

　2016年7月26日を忘れません。

　19人のかけがえのないいのちをい、くの人たちのをけているやまゆり園での。この事件をこしたにあると。私たちはこの事件をさせることなく、けています。

　障害のある人びとのといのちのをみにじる事件がいでいます。でえるの。やを20年にわたりにし、死にらしめる事件が続いています。のある人のホーム、知的障害のある人へのやなどによる。、全国で広がったのと。

　今年1月、によってを受けた女性が国をしました。障害をにのないまま、のを受けた人びとがを上げています。国会ではのなどによりやをめざす動きが生まれています。まずは、ののためのとをべきです。して、しっかりとしたのが。やのを、してをし、のにするのとに、ことがくり返されないためのをじるべきです。

　は、にをつけ、や、や、さらにはさえもしてきました。「障害者は生きていてもがない」「させた方がいい」は大きなりなのです。すべての人間にはがありがあります。だれも、一人ひとりのをうことはされません。

　やのだけでにかどうかをし、いのちをていくようながになっていることも感じます。障害のある人だけでなく、に苦しむ人びとへの「」もにあります。

　は、「ての障害者は、のとのをとして、そのがそのままのでされるをする」と第17でっています。やをえるを、多くの人びととしてめていきましょう。一人ひとりのいのちが大切にされるのにけて、のとつながりながら、けましょう。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　2018年7月25日

　　　　　　　　　　　　　JDサマーセミナー2018